

(講座)臨床薬学 (研究室)薬剤学
(氏名)麓 伸太郎 (職名)助手

【研究テーマ】

1. 臓器表面投与法による遺伝子導入効率の増強及び持続化に関する研究
2. 肝臓を標的とした新規遺伝子デリバリーシステムの開発

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Shintaro Fumoto, Shigeru Kawakami, Yoshitaka Ito, Kosuke Shigeta, Fumiyoshi Yamashita and Mitsuru Hashida: Enhanced hepatocyte-selective in vivo gene expression by stabilized galactosylated liposome/plasmid DNA complex using sodium chloride for complex formation, *Molecular Therapy*, 10 (4), 719-729 (2004).
2. Ryu Hirayama, Koyo Nishida, Shintaro Fumoto, Mikiro Nakashima, Hitoshi Sasaki and Junzo Nakamura: Liver site-specific gene transfer following the administration of naked plasmid DNA to the liver surface in mice, *Biological & Pharmaceutical Bulletin*, 27 (10), 1697-1699 (2004)

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 稲岡奈津子, 三宅秀明, 西田孝洋, 中嶋幹郎, 佐々木均, 栄田敏之, 麓伸太郎, 中村純三:
Influence of dose and body temperature on change in pharmacokinetics of model compounds under hypothermia,
第 19 回日本薬物動態学会年会, 18PE-71, 講演要旨集, p345, 金沢 (2004)
2. 平山龍, 麓伸太郎, 中嶋幹郎, 佐々木均, 西田孝洋, 中村純三:
プラスミド DNA の腎臓表面への直接投与による遺伝子導入,
第 21 回日本薬学会九州支部大会, 1D-16, 講演要旨集, p119, 長崎 (2004)
3. 有吉貴美代, 平山龍, 麓伸太郎, 中嶋幹郎, 佐々木均, 西田孝洋, 中村純三:
プラスミド DNA の肺胸膜表面への直接投与による遺伝子導入,
第 21 回日本薬学会九州支部大会, 1D-17, 講演要旨集, p120, 長崎 (2004)
4. 堀下美由紀, 西田孝洋, 木下真理子, 麓伸太郎, 中嶋幹郎, 佐々木均, 中村純三:
肝臓表面投与法の癌化学療法への応用に向けた製剤学的検討: 粘性添加物による薬物吸収制御,
第 21 回日本薬学会九州支部大会, 1D-18, 講演要旨集, p121, 長崎 (2004)

【研究費取得状況】

1. 肝臓を標的とした遺伝子デリバリーシステムにおける血液成分の役割に関する研究,
持田記念財団研究助成金・代表

【過去の研究業績統計】

原著論文 (欧文)	8 編	(邦文) 0 編
総説 (欧文)	0 編	(邦文) 0 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文) 0 編
紀要 (欧文)	0 編	(邦文) 0 編
特許	0 件	